

医療・いのち

泌尿器科・産婦人科の境界

ウロギネ外来 京都医療センターに開設

安彦郁

産科婦人科科長に聞く



安彦郁・京都医療センター産科婦人科科長

京都医療センター(京都市伏見区)に骨盤臓器脱専門外来「ウロギネ外来」が開設された。担当する産科婦人科科長の安彦郁さんに骨盤臓器脱と治療について聞いた。

臓器脱。加齢や出産の影響などで骨盤底筋などが臓器を支えきれなくなり、骨盤内の子宮やぼうこう、腸や膣が垂れ下がって外に出る。頻尿や尿もれ、排便障害などを生じ、QOL(生活の質)が著しく低下する。

「70代や80代で発症される方が多く、高齢化の進行によって臓器脱は近年になって治療法が整い、手術も負担が減っているという。」

「初診の日に診断を行い、ぼうこうの病気など他の病気がないかどうか調べ、治療を選択します。手術は後日に設定することになります。ロボット手術は体の負担も少なく、3日後の入院で退院できます。」

ウロギネは、英語のウロロジ(泌尿器科)とギネコロジー(婦人科)を合わせた造語「ウロギネコロジー」に由来している。

患者は増えています。元気で活動的な高齢者の病気が、尿に関わることから恥ずかしさがあり、また産科婦人科には若い人の受診が多く、来院をためらわれる人も多いと思われることもあり、専門外来を開設しまし

「治療には(骨盤底筋を強くする)骨盤底筋体操やペッサリを入れるなどの『内科的治療』と、『手術』があります。2020年から再発率が低く、体の負担も少ないRSC(ロボット支援下仙骨膣固定術)が保険適用となりました。京都医療センターでも適用以降に80例を超える手術を行っています。」

「加齢のせいだから治らない、とあきらめないでください。『長年の悩みが解決された』『すぐ楽になった』と喜んでもらえた多くの患者さんがいます。QOLが向上し、外出もためらうことがなくなります。社会活動にもつながるでしょう。悩みがあれば、受診してください。直接の来院もできますが、かかりつけ医の紹介があれば初診料などの負担も減らせます。」

骨盤臓器脱 あきらめないで

ロボット手術80例超、保険適用

骨盤底機能障害の一つが骨盤

「診断から手術まではどのよう

に進んでいくのか。

「加齢のせいだから治らない、とあきらめないでください。『長年の悩みが解決された』『すぐ楽になった』と喜んでもらえた多くの患者さんがいます。QOLが向上し、外出もためらうことがなくなります。社会活動にもつながるでしょう。悩みがあれば、受診してください。直接の来院もできますが、かかりつけ医の紹介があれば初診料などの負担も減らせます。」

京都新聞 (Large stylized title)

8月20日 火曜日

京都新聞社 The Kyoto Shimbun Co., Ltd. 〒604-8577 区烏丸通夷川上ル

TING TION (Advertisement for a service)



米中会談のポイント (Article snippet)



DM (Direct Mail) and Yamato Transport (ヤマト運輸) advertisement.

日本郵便 (Japan Post) advertisement.